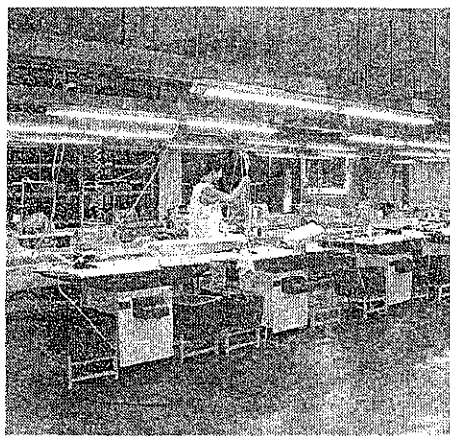


「COS」専用のサンプル開発センター



蘇州マッコニー

H&M「COS」の 全サンプル生産

中高級婦人服生産グループ、マッコニーホールディングス（東京、會藝文社長）の主力生産拠点、中国の蘇州マッコニーは、H&Mのアップライン・ブランド「COS」向けのサンプル開発センターを工場内に設立。今月から稼働し始めた。欧州の有力アップライン婦人服ブランドは最近、企画能力や人材の厚み、コスト競争力を持つ中国にサンプル開発センターを求めるようになってきている。（浅岡達夫）

従業員数1200人、サンプル縫製ラインだけでも60人が働いている蘇州マッコニーの能力をCOSは評価。世界の工場向け全サンプルの開発を蘇州マッコニーに委託している。

サンプル開発センターはCOS側が設けたが、蘇州マッコニーは独立した500平方メートルのスペースを用意。パターンナー6人、マーチャンダイザー7人、技術スタッフ2人の15人を配置した開発センターと、縫製6

開発センターが稼働

人、ミシン20台によるサンプル縫製ラインで構成する。将来は縫製担当を20人まで増員する。COSは世界的に調達した生地や副資材を蘇州マッコニーに供給。蘇州マッコニーも生地や技術を提案し、月200型のサンプル提案を常時行う。サンプルに基づくと本生産は大部分を蘇州マッコニーが請け負うが、一部は他工場でも生産する。

蘇州マッコニーは、サンプル生産全体に対応して最適なコストを分析する「コストイングルーム」を6月に開設。サンプル縫製段階で、同社が標準とする加工時間と突き合わせる。これにより、著しく時間が長い製品については、理想的な縫製工程やテクニック、素材使いなどを考え、動画によって顧客に提案。生産効率の向上や品質の安定化が進むという。

蘇州マッコニーは、「COSに続いて欧州の他ブランドからも引き合いがあり、要望に応じて同様のサンプル開発センターを設ける。日本向けにもブランド競争力向上の一つとして紹介したい」（會社長）と意欲を見せる。